

2026年4月14日

各 位

会社名 いちご株式会社
代表者 代表執行役会長 スコット キャロン
(コード番号 2337 東証プライム)
問合せ先 常務執行役財務本部長 坂松 孝紀
(電話番号 03-4485-5221)
www.ichigo.gr.jp

2026年2月期 通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

本日開催の当社取締役会における2026年2月期決算の承認に伴い、通期連結業績の売上高について、前期実績値との差異（10%以上の増加）が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、当社は当該項目に係る業績予想を公表していないため、増減については前期実績値との比較となっております。

記

1. 2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）通期連結業績の前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	事業利益（※1）	経常利益
2026年2月期 (当期実績値 / A)	92,705	20,449	28,047	17,095
2025年2月期 (前期実績値 / B)	83,576	16,309	24,864	13,764
増減額 (A) - (B)	+9,129	+4,140	+3,183	+3,331
増減率	+10.9%	+25.4%	+12.8%	+24.2%

(※1) 事業利益 = 営業利益 + 特別損益に計上される心築およびホテルの資産売却損益

	親会社株主に 帰属する 当期純利益	キャッシュ 純利益（※2）	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	1株当たり キャッシュ 純利益（※3）
2026年2月期 (当期実績値 / A)	16,628	18,442	40円11銭	40円01銭	44円49銭
2025年2月期 (前期実績値 / B)	15,187	19,391	34円86銭	34円79銭	44円51銭
増減額 (A) - (B)	+1,441	-949	+5円25銭	+5円21銭	-1銭
増減率	+9.5%	-4.9%	+15.1%	+15.0%	-0.0%

(※2) キャッシュ純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益 + 減価償却費 + のれん償却費 ± 評価損益等

(※3) 1株あたりキャッシュ純利益 = キャッシュ純利益 / 自己株式控除後期中平均株式数

2. 通期連結業績における前期実績との差異の理由

当社の心築（※）事業において、保有資産の売却による売上高が、2025年2月期の52億円から、2026年2月期には128億円へ増加したことが主な要因です。

なお、2026年2月期は、事業利益および親会社株主に帰属する当期純利益で過去最高益を更新しております。2026年2月期の通期連結業績の詳細は、本日発表の「2026年2月期 決算短信」および「2026年2月期 決算説明資料」をご参照ください。

（※）心築（しんちく）

心築とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心を込めた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することで、日本における「100年不動産」の実現を目指しています。

以 上